

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
領域開拓プログラム最終評価結果表

課題	A：「認知科学的転回」とアイデンティティの変容
研究テーマ名	創発的知性としての「群衆の智慧」：集団意思決定による社会と個人の変容
研究代表者	齋木 潤
所属機関・部局・職	京都大学・大学院人間・環境学研究科・教授
研究成果の総合評点：A	
研究成果に係る所見	
<p>「群衆の智慧」に着目して、集団意思決定における個人と集団の相互作用による創発的意思決定の機序を解明し、集団意思決定によるスマートな集団・個人を創成する方法を開発することを目指して社会心理学、認知科学、数理生態学、情報学という異なる分野の研究者がチームとして取り組み順調に研究を進めた。研究成果は、当初の研究目的からすると達成できなかった部分もあるが、慎重な議論を重ねて計画に修正を施し研究活動を展開するなかで相当のものを達成している。成果発表に関しては、産学協同ワークショップを開催するなど努力をしている。査読のある海外の学術誌への発表はまだ十分でないが、査読中のものもあり、今後に期待できる。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、期待どおりではないが一定の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い